

■3/10開催 Dグループ最終アイデア	
テーマ	「歴史と食の融合プロジェクト」
コンセプト・目的など	・長崎の歴史、おいしいもの、宝の海を体感できる新しい技術(IT技術)でプロデュース
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点情報をユビキタス化により発信する ・「西役所」・「海軍伝習所」・「出島」等、作れない物はバーチャルで復元(コストを削減) ・食事の体験ゾーン(長崎の食文化を発信) ・県立図書館の誘致(長崎歴史の学習 市民・県民・修学旅行・観光客等) ・街全体を施設として考える(県庁跡地の施設を中心)→浜の町エリア→南山手エリア→新地エリア→出島エリア→大波止エリア(海との遊び シーカヤック等の設備)→新県庁エリア(新幹線含む)の人の往来による地域活性化
効果や必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民も県民も観光客も楽しめる施設で「交流の場」となり、地域の活性化につながる ・「食」と「歴史」と「海」が一体となったゾーニングにより人と人との交流の幅が広がる ・長崎から最新技術の発信により、世界中から勉強・観光にやってくる(IT技術により3Dで教会などを再現する)